

目 次

読者からの手紙	……………(宮本小夜子, 松田 綾)	1
広 場 「JMLA 委員会 Part.2」	……………(川崎かおる, 阿字川和雄, 渡辺 由美)	3
加盟館紹介 倉敷中央病院図書室	……………(中野 佐紀)	8
東西南北 (検索用データ編集の著作権法改正へ, NIH が疾病データを無料アクセスに, 医療現場での Google, オープンアクセス誌の新しい論文採択方式, WorldCat の壮大なプロジェクト, ほか)	……………	10
解 説		
インフォメーションリストあるいは ISIC (Information Specialist in Context): 新しい医学図書館員のひとつのモデル	……………(エレンゲイデトワセン, 酒井由紀子)	14
連載講座: Current Practice in Health Sciences Librarianship 「第1回 Handbook of Medical Library Practice」		
専門職への道: Handbook の切り開いた世界	……………(山口直比古)	20
特 集 「チュートリアル」		
特集にあたって	……………(伊東 麻絵, 北川 昌子)	27
新しいチュートリアル: 東京女子医科大学の取り組み	……………(吉岡 俊正)	28
神戸大学医学部におけるチュートリアル教材	……………(前田 哲治)	34
情報リテラシーのためのウェブチュートリアル開発:		
KITIE (Keio Interactive Tutorial on Information Education) の事例	……………(市古みどり, 上岡真紀子)	37
画面キャプチャーソフトによる利用者教育用資料の作成: 新しい形での利用者教育の可能性への模索	……………(小林 靖明)	42
DynaMed を診療や教育で利用する	……………(南郷 栄秀)	46
『An@tomy.tv』: 海外の導入実績と活用事例	……………(平本 賢助)	52
医学画像とアニメーションのライブラリ SMART Imagebase	……………(鈴木 智之)	55
医療専門家を対象とする英語論文投稿に関する教育支援ウェブサイト Ronbun.jp の紹介	……………(井上 敦子, 辻野 靖彦, R ブルーヘルマンス, J. パトリックハロン)	59
事例報告		
日本三大死因をキーワードとして抽出した被引用回数上位論文の PubMed における Publication Types 調査: EBM との相関を中心に	……………(三浦 誠)	63
臨床研修協力病院とのデータベース共同利用: 高知大学総合情報センター (図書館) 医学部分館の例	……………(田所千峰子)	69
藤田学園における看護学専攻学生に対する学年別図書館ガイダンスの実施	……………(岡田 信恵, 柿田 憲広)	73
JMLA 活動報告		
韓国医学図書館協議会第38回秋季学術大会参加報告	……………(北川 正路)	77
第57回重複雑誌交換実績報告書	……………(青木 裕子)	80
Q&A VOD とは	……………(田代 勢至)	83
レファレンス事例集		
購入していないデータベースの検索	……………(山本 奈美)	85
購読電子ジャーナルで利用できないコンテンツ	……………(山本 奈美)	86
1960年代の日本語の論文を PubMed で検索した例	……………(福島美知子)	87
Book Reviews		
統計学を拓いた異才たち: 経験則から科学へ進展した一世紀	……………(八田 基稔)	89
東大式絶対情報学	……………(久米原 栄)	90
ジャーナル・クラブ	……………	91
協会ニュース	……………	95
編集デスク	……………(大谷 裕, 伊東 麻絵, 北川 昌子)	97
執筆規定, 執筆ガイド	……………	100